

治療スケジュール

F-23

*レジメン名	BV(10mg/kg)+FOLFIRI療法(14日間)(大腸)								
*投与量・投与日	レボホリナート200mg/m <sup>2</sup> d1、 イリノテカン150mg/m <sup>2</sup> d1、 5Fu400mg/m <sup>2</sup> d1、 5Fu2400mg/m <sup>2</sup> d1、 アバスチン10mg/kg d1								
*手技	癌	*薬品名・*用法・コメント・*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(14)	d( )	d( )
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生食注シリンジ 1日1回 開始時 CVポートフラッシュ	10	mL		○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 デキサト注射液 グラニセトロン静注液 1mg 1日1回 メイン① 点滴開始時アプレビタントカプセル服用	50 4.95 1	mL mg A	15分	○ ○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 ☆ アバスチン注 インフュージョンリアクション認めなければ次回より60分に短縮可 それ以降、30分投与とすることができる 1日1回 メイン② 無菌製剤処理料1	100 10	mL mg/kg	90分	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 1日1回 メイン③ 流し	50	mL	15分	○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注 レボホリナート点滴注 1日1回 メイン④	250 200	mL mg/m <sup>2</sup>	2時間	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注 ☆ イリノテカン注 1日1回 側管④ 無菌製剤処理料1	250 150	mL mg/m <sup>2</sup>	90分	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 ☆ フルオロウラシル注 1日1回 側管⑤ 無菌製剤処理料1	50 400	mL mg/m <sup>2</sup>	5分	○ ○			
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 ☆ フルオロウラシル注 1日1回 全量100mL(Infusor SV2.5) メイン⑥ 無菌製剤処理料1 携帯型ディスプレイ注ポンプ(化学療法用) 休薬完了	100 2400	mL mg/m <sup>2</sup>	46時間 2.5mL/h	○ ○			
									●
		以下別オーダー							
内服		アプレビタントCap 1日1回 1本目の点滴開始時	125	mg	d1				
内服		アプレビタントCap 1日1回 朝食後	80	mg	d2,3				